

STAGE+を楽しむ(215)(HP 収録)
—サラステのシベリウスの交響曲第 6 番と第 7 番—

1. 始めに

前報(214)に引き続き、STAGE+のサラステが指揮するシベリウスの交響曲第 6 番&第 7 番の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAG+のサラステが指揮するシベリウスの交響曲第 6 番&第 7 番を試聴します。

コンサート

ヘルシンキ・フィルハーモニー管弦楽団

収録日: 2024 年 11 月 21 日

フィンランドの名匠ユッカ=ペッカ・サラステ。2023 年からはヘルシンキ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者に就任し、さらに目覚ましい活躍を見せています。本映像では、2024 年に行われたコンサートの模様をご覧いただけます。シベリウスの交響曲第 7 番と 6 番をプログラムに据えた、非常に豪華な内容です。これらを完成させた直後に、シベリウスは作曲活動を休止しました。フィンランドの国民的作曲家が生んだ傑作を、彼の作品を数多く初演した伝統を誇る名門オーケストラの演奏でお楽しみください。

演奏:

ヘルシンキ・フィルハーモニー管弦楽団

指揮:

ユッカ=ペッカ・サラステ

曲目:

ジャン・シベリウス 交響曲第 7 番ハ長調 op. 105

ジャン・シベリウス 交響曲第 6 番ニ短調 op. 104



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続しています。

フィンランド出身のサラステの指揮による、ヘルシンキ・フィルハーモニーのシベリウスの交響曲ということで定番中の定番です。

交響曲第7番は、重々しい北欧のメランコリックなロマンチズムが漂います。

交響曲第6番は、打って変わって、軽やかな北欧の夏の風景を思わせる爽やかな表情が漂います。

サラステは端正な指揮で、それぞれの曲の表情を引き出しています。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G も使用した結果、ヘルシンキ・フィルハーモニーのシベリウスのシベリウスらしい演奏が味わえました。

以上